

第11次鳥取市総合計画（施策評価シート）

【基本情報】

まちづくりの目標	01	誰もが自分らしく暮らし続けることができる、持続可能な地域共生のまち		
政策	02	住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくり		
基本施策	1201	安心できる社会保障制度の運営		重点施策
施策の基本的方向	国民健康保険事業及び介護保険事業の健全運営を図るとともに、生活保護制度・生活困窮者自立支援制度の適正かつきめ細かい実施に努め、誰もが健康で安心して生活を営むことができるセーフティネットを確立し、市民生活を守ります。			

【評価指標】

指標1	指標名	生活保護受給者就労支援事業に参加し、就労開始となった人数							戦略指標
	指標の説明	生活保護受給者就労支援事業に参加し、就労開始となった当該年度の数。							
	年度	H30	R1 (策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
	目標値	A 人	-	-	76	82	88	95	100
	実績値	B 人	-	70	49	54			
	達成率	B/A %	-	-	-	71.4%			
	評価	所管部局（課）		評価コメント（課題・今後の方向性等）					
やや遅延	生活福祉課		新型コロナウイルス感染症の影響による景気悪化もあり、目標値に達することはできなかったと考える。引き続き、就労ボランティア活動や就労体験等、一人ひとりに寄り添った支援を行い、被保護者の自立に向けた取組を行っていく。						
指標2	指標名	鳥取市国民健康保険におけるジェネリック医薬品の普及率							戦略指標
	指標の説明	厚生労働省が発表する、鳥取市国民健康保険における薬剤に占める当該年度のジェネリック医薬品の数量ベースによる普及割合。							
	年度	H30	R1 (策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
	目標値	A %	-	-	81.0	82.0	83.0	84.0	85.0
	実績値	B %	-	79.6	80.9	80.4			
	達成率	B/A %	-	-	-	99.3%			
	評価	所管部局（課）		評価コメント（課題・今後の方向性等）					
概ね順調	保険年金課		医療費の適正化を図り、被保険者の医療費の負担軽減につなげるため、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額通知や啓発事業を通して、引き続き利用勧奨に努め、ジェネリック医薬品の普及を促進する。国が公表する本市の普及割合は令和3年9月現在で80.4%。 令和4年度3月時点の国公表値が出ていないため暫定値で評価						
指標3	指標名	介護給付適正化事業におけるケアプラン点検実施件数							戦略指標
	指標の説明	ケアプラン点検を行った当該年度のプラン件数。							
	年度	H30	R1 (策定時)	R2	R3	R4	R5	R6	R7 (目標)
	目標値	A 件	-	-	490	490	560	560	580
	実績値	B 件	-	528	190	348			
	達成率	B/A %	-	-	-	71.0%			
	評価	所管部局（課）		評価コメント（課題・今後の方向性等）					
やや遅延	長寿社会課		コロナ禍で対面でのケアプラン点検を予定どおり実施することができなかった。今後は、実施方法を工夫しながら適正なサービス利用内容に対する給付が確保されるよう継続して点検を実施していく。						